



小さな苗木で大きな未来

6/16 コープ未来(あした)の森づくり植樹祭

美幌町の環境負荷低減の取り組みに、社会・環境貢献活動の一環として、多くの企業・団体からご賛同をいただいています。

当日は、カラマツの苗木を植樹し、多くの子どもたちが汗を流しました。

びほろ町

ざかい

6月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など 2 P

こんなことを聞きました

一般質問 8人登壇 5 P

先進地視察をしました

議会情報通信技術の活用(議会運営委員会) ... 13 P

定住・移住、子育て支援施策 他

(総務文教厚生常任委員会) 14 P

町おこし、公共温泉施設の管理運営 他

(経済建設常任委員会) 15 P

議員14名の政務活動費収支報告

平成29年度政務活動費執行率は67.8% 16 P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.229 平成30年8月1日

◇発行／北海道美幌町議会

◇編集／議会運営委員会



6月定例会のあらまし

【19日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（戸澤・新鞍・稲垣・坂田）が一般質問に登壇。運動施設の維持・管理、図書館改築、受動喫煙防止策、スポーツ少年団の支援について活発な議論が交わされました。

【20日】議員4名（吉住・上杉・大江・橋本）が一般質問に登壇。公有財産の管理、人事政策、貧困化における安全網構築、GAP認証取得について活発な議論が交わされました。

【21日】第3日目は議案審議に入り、美幌町固定資産評価審査委員会委員の選任、動産の取得5件（発電機、東陽小学校教育用コンピュータ機器、町民会館設備用備品2件、コンサートグランドピアノ）、工事請負契約の締結2件（スポーツセンター耐震改修工事、下水終末処理場水処理施設電気設備更新工事）、過疎地域自立促進市町村計画の一部変更、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定、条例改正7件、補正予算案4件の計20件を審議し、いずれも原案どおり同意・可決しました。次いで、意見書案6件を可決し、2件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了閉会しました。

町長の行政報告（要旨）

◆ご寄附について

高橋康弘さま（網走市）から、スポーツ振興に役立ててほしいと100万円のご寄附いただきました。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用させていただきます。

◆美幌町荣誉賞、スポーツ奨励賞、特別荣誉賞の表彰について

スポーツ分野における全国大会、国際大会で活躍された町内在住、本町出身の選手に対して表彰を行いました。



～ 三橋選手、石田選手、一戸選手 ～

【美幌町荣誉賞】小成 裕之さん（アジアペタンク選手権大会・ティール 3位）

【スポーツ奨励賞】佐藤 凱王さん（池田高校1年、全国中学校スケート大会・1500m 7位）
畔上 凜花さん（美幌北中学校3年、全国中学校スキー大会・選抜リレー 2位）

【特別荣誉賞】石田 正子さん（平昌冬季オリンピック出場・クロスカントリースキー）
三橋 李奈さん（同、バイアスロン競技）
一戸 誠太郎さん（同、スピードスケート）

※その他、職員の人事異動（4月1日付）について報告がありました。

補 正 予 算

平成30年度補正予算は、全て原案どおり可決しました。
補正予算の主な内容は次のとおりです。

一 般 会 計

- 街路灯等のLED化に伴う委託料・借上料 1,624万6千円
- 畑作構造転換事業補助金 1,515万3千円
- トレーニングセンター備品購入費（ランニングマシン） 100万1千円

特別会計・企業会計

- 公共下水道特別会計及び水道事業会計は、
国道243号稲美交差点改良に伴う、マンホール修繕・
配水管布設替による増額補正
- 病院事業会計は、
夜間看護業務等手当の改正に伴う、給与費の増額補正

各会計補正額と補正後の総額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計（第2号）	3,735万円	109億8,427万円
公 共 下 水 道（第1号） 特 別 会 計	93万円	10億6,658万円
水 道 事 業 会 計（第1号）	2,060万円	9億2,685万円
病 院 事 業 会 計（第1号）	91万円	25億9,628万円

※（ ）内は、補正回数

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

動 産 の 取 得

< 発電機（8台） >
2,408万4千円



< 東陽小学校教育用コンピュータ >
978万4千円



< 町民会館備品（家具他） >
5,251万円



< 町民会館コンサートグランドピアノ >
2,408万4千円



工事請負契約の締結

< 下水終末処理場電気設備 >
7,279万2千円



< スポーツセンター耐震改修工事 >
2億3,436万円



町内空家対策のため「美幌町空家等対策協議会」を設置

6月定例会では、7件の条例改正（町税条例、介護予防・生活支援事業条例、都市公園条例 等）を審議し原案どおり可決しました。ここでは、主な条例改正についてお知らせします。

■美幌町附属機関に関する条例の一部改正

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、美幌町空家等対策協議会を設置します。

■美幌町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正

人事院規則の改正に伴い、夜間看護業務等手当の改正を行いました。（深夜勤務 6,800円→7,300円 等）

6件の意見書案を可決し関係機関へ提出

平成30年6月定例会では、8件の意見書の提出を求める要請・陳情のうち、6件の意見書案を可決し、国・北海道等の関係機関へ提出しました。ここでは、主な内容についてお知らせします。

1 北海道主要基幹農作物種子条例の制定に関する意見書（要旨）

我が国の食と農を支えてきた主要農作物種子法の廃止により、稲などの種子価格の高騰、地域条件等に適合した品種の生産・普及などの衰退が心配されている。北海道における現行の種子生産・普及体制を生かし、本道農業の主要農作物の優良な種子の安定供給や品質確保の取組を後退させることなく、農業者や消費者の不安払拭のために、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- ① 将来にわたって北海道の優良な種子が安定的に生産及び普及が図られ、生産者が安心して営農に取り組む、高品質な道産農作物が消費者に提供ができるよう、北海道主要農作物の種子に関する道条例を早期に制定すること。
- ② 対象農作物については、稲、麦、大豆といった北海道農業に欠かせない農作物を位置付けるとともに、条例の円滑な推進に必要な財政措置と万全な体制を構築すること。
- ③ 食料主権の確保と持続可能な農業を維持する観点から、優れた道産種子の遺伝資源が国外に流出することのないよう知的財産の保護を条例に盛り込むこと。

【提出先】北海道知事

請 願 と 陳 情

請願とは、憲法に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望する行為で、議会に対する請願は、議員の紹介が必要となります。一方、陳情は、議員の紹介なしで提出することができ、趣旨に賛同できる場合は、議会の議決に基づき、意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁等に提出することができます。

- 2 「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことを求める意見書
- 3 国の責任による35人以下学級の前進を求める意見書
- 4 ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- 5 2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- 6 平成30年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

一般質問

8人が登壇

質問者と質問項目

- | | |
|---|---|
| <p>■戸澤 義典 議員：… 5 頁</p> <p>① 運動施設等の維持・管理</p> <p>② 防災・減災について</p> | <p>■新鞍 峯雄 議員：… 6 頁</p> <p>① 「ふるさと住民票」の制度導入</p> |
| <p>■吉住 博幸 議員：… 9 頁</p> <p>① 公有財産の管理</p> <p>② 屋内多目的運動場について</p> <p>③ ドッグランの造成について</p> | <p>■稲垣 淳一 議員：… 7 頁</p> <p>① 受動喫煙防止策</p> <p>② 美幌高校への支援策</p> |
| <p>③ 結核患者の早期発見・予防</p> <p>都市宣言について</p> | <p>■坂田 美栄子 議員：… 8 頁</p> <p>① スポーツ少年団の支援</p> <p>② 健康づくり・スポーツ</p> |

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

- | | |
|--|--|
| <p>■橋本 博之 議員：… 12 頁</p> <p>① GAP 認証取得について</p> <p>② 移譲登録制度について</p> <p>③ 公共施設の解体計画について</p> | <p>■上杉 晃央 議員：… 10 頁</p> <p>① 女性職員の管理職登用</p> <p>② 人事評価制度の実施状況</p> <p>③ 役場グループ制度の見直し</p> |
| <p>■大江 道男 議員：… 11 頁</p> <p>① 貧困化における安全網の構築</p> <p>② ドッグラン整備について</p> | |

こんなことを決めました

運動施設

問 利用者の意見・要望の取り扱いは

戸澤
義典議員

答 利用調整会議等で確認し検討している



問 各種体育施設を安全・安心かつ快適に使用するため、維持・管理をどのように行っているのか。

答 各種体育施設において、競技の特殊性や専門的な知識が必要な場合があるため、専門講習の受講やグラウンド・パークゴルフ場の適正な芝の整備方法などの情報収集を行っている。また、野球場、テニスコート、スケ



ートリンクなどは競技団体に管理委託し、利用者側からの視点で管理している。

問 体育施設利用者からの意見・要望をどの様に受けているのか。

答 年度初めの施設利用調整会議等において、競技団体から意見・要望を聞き、次年度予算編成へ反映するなどしている。

パークゴルフ場

芝の管理は

問 一昨年、河畔公園パークゴルフ場が整備されたが、芝の状態が良くない。今後の予定は。

答 芝の状態を良好に保つため、コースを部分的に閉鎖しながら、散水作業を行い、草刈り回数を増やすなどして対応している。今後、グリーン等の芝の修繕を、9月中旬を目途に行い、適切な維持管理に努めていきたい。

防災・減災

備蓄管理は

問 報徳の防災資機材等備蓄倉庫の場所は、浸水地域に含まれる。今後の予定は。

答 倉庫は、非常時に支障なく稼働するよう維持管理面を優先し建設した。現在は、災害時備蓄計画に基づき、順次指定避難所へ資機材を移動し、最終的には予備資機材の保管場所とする。



知らせし、防災訓練やまち育講座を通じてPRしている。

問 自治会の備蓄状況は。

答 補助制度を活用した整備実績は、物置、資機材整備ともに4自治会となっており、計29自治会が整備を行っている。

問 事業所内備蓄の推進は。

答 啓蒙啓発を行いながら、企業レベルでの防災意識の高揚を図っていきたい。

屋内多目的運動場

災害時利用は

問 建設予定の屋内多目的運動場の災害時利用は。

答 大規模災害時の支援物資の仕分け、保管場所としての利用を想定している。

地方創生 問「ふるさと住民票」発行の考えは

新鞍
峯雄議員

答 地域外の方々とのつながりを検討したい



問 法律に基づく住民票とは別に「ふるさと住民票」を発行し、まちづくりへの参加の機会を増やす考えは。

答 美幌町においても、人口減少や地域の活性化を目指す「地方創生」に取り組んでいる。今年度は地域や住民との多様な関わりを持つ「関係人口」を創出する事業を実施する予定で、地域外の人材が地域

づくりの担い手となることを期待している。また、「(仮称)ふるさとサポーター倶楽部」を設置し、地域外の方と継続的につながりを強めていくことができるか効果検証を行いたい。

問 「ふるさとサポーター倶楽部」の具体的な事業内容は。

答 地域につながりのある都市住民に地域独自の歴史・文化など地域資源を活用したイベントや地域づくり活動に関与してもらうことを目的としている。事業終了後も、受け入れプログラムの実施や都

市部でのPR活動に取り組み、新たなサポーターの獲得を図りながら、サポーター倶楽部の会員に継続的に地域の暮らしや仕事の情報を発信し、移住の動き、ふるさと納税につなげていきたい。

図書館 改築

予定・計画は

問 現在の図書館は、建築から約40年が経過し、老朽化、狭あい化が著しい。今後の改築計画と設置場所の考え方は。

答 現在の図書館の蔵書数は、建設時の3万冊から14万冊を



～ 美幌町図書館 ～

超え、他に分散保管している状況、建物の老朽化などから、町民の利用しやすい施設整備を検討することとして、美幌町公共施設等総合管理計画に、2026年までに更新を検討することとしている。設置場所等について具体的計画はないが、地域住民の要望に応える情報発信の拠点となる施設を目指していきたい。

集会所備品整備

支援の考えは

問 地域での自治会活動の役割は年々高まっているが、集会所の備品整備に苦慮している。公共施設で不要となったテーブル、椅子等の備品を利活用できないか。

答 公共施設改築時において使用できる備品は、継続して利用し、様々な理由で利用できない備品についても、他の公共施設において有効活用しているが、自治会活動や自治会の財政に支障を来さぬよう配慮していきたい。



～ 旭集会所 ～

受動喫煙

問 公共施設での全面禁煙化の考えは

稲垣
淳一 議員

答 来年度までに敷地内禁煙を実施する



「子育て世帯禁煙サ
ポート事業」に取り
組んでいる。

また、国では、健
康増進法の改正が審
議され、行政機関に
対して、受動喫煙を
防止する措置を総合
的かつ効果的に推進
することを求めている。

町としては、町民

美幌町の公共施設
における受動喫煙防
止策として、施設内、
敷地内の全面禁煙化
を実施する考えはな
いか。

答 町では、高校生
の禁煙講演会や「ふ
れあい広場」での禁
煙普及啓発の実施、



の健康づくりを推進
するため、遅くとも
来年度には、全ての
公共施設で敷地内禁

煙を実施したい。

問 町民会館改修工
事が終了するが、9
月オープンに合わせ
た、敷地内全面禁煙
実施予定は。

答 全公共施設での
全面禁煙化と同様に
来年度までには実施
するが、時期を早め
ることができるか協
議したい。

美幌高校

間口確保支援

問 今年度、美幌高
校の入学者は定員1
60名に対して94名
であり、年々減少し
ている。オホーツク
管内でも特色ある農
業科を持つ高校とし

て、行政・地域が協
力して高校を支援す
る組織を立ち上げる
考えはないか。

答 少子化の影響の
ほか、地元進学率の
低下により、入学者
数が減少しているこ
とから、美幌中学校
運動会時の美高ショ
ップの開催、地元卒
業生による食育活動、
高校機関紙の配布な
ど情報発信に努めて
いる。

また、農業科間口
対策補助金の支給や
報徳寮への運営支援
も行っているが、公
立高校配置計画案で
は間口削減の記載も
あることから、予断
を許さない状況であ
る。

このことから、美
幌高校の教育振興や
間口対策を総合的に

協議する組織が必要
と考え、町内関係機
関からなる「(仮称)
美幌高等学校教育振
興対策協議会」を立
ち上げ、オール美幌
体制で支援していき
たい。

問 教育振興対策協
議会立ち上げによる
支援の他に考えてい
ることは。

答 教育振興対策協
議会の他、高校の教
育後援会、高校OB
組織により、魅力あ
る学校づくりの支援
をしていきたい。



～ 美幌高校 ～

スポーツ振興

問 少年団への支援拡充は

坂田
美栄子議員

答 環境整備・活動費の支援を継続強化したい



問 子どものスポー

ツ活動を促進・継続させるためには、指導者の資質向上や後継者の育成が重要と考える。スポーツ少年団の指導体制の現状と今後の対応は。

答 美幌町には、19のスポーツ少年団があり、町の児童の約半数が活動している。指導者不足が課題とされながらも、少年団OBが指導者となり、少しずつ登録指

導者が増えている。

今後も、スポーツ指導者資格取得補助制度を活用し、日本スポーツ協会公認の資格取得を積極的に支援していきたい。

問 地域スポーツ発

展のため、学校部活動の外部指導者招へいを積極的に進めていくのか。

答 部活動のガイド

ラインが発表され、外部指導者の積極的な招へいが記されているが、都市部と異なり人員確保できるかが問題となる。オホーツク管内教育長会議等で協議していきたい。



問 多くの子どもた

ちが夢と希望を持って少年団で活動しているが、家庭環境によつて大会への出場を断念しなくてはならないのは残念である。支援体制の現状と考えるは。

答 近年、様々な競

技において全国・全道大会に出場する選手が多く、優秀な成績を収めている。その反面、保護者

や指導者の負担は大

きいことから、全国・全道大会選手派遣費の補助率を引き上げ、経費の負担を軽減してきた。

今後も安心して活動できるよう環境整備や活動費の支援を継続・強化していきたい。

スポーツ都市宣言

行う考えは

問 スポーツ大会・

イベントの誘致・開催により、交流人口の増加を図り、スポーツによるまちづくりを進めるため、「健康づくり・スポーツ都市宣言」を行う考えはないか。

答 将来に向けて、

「健康づくり・スポーツ都市宣言」も有効な手段と考えるが、

結核予防

対策方法は

問 日本でも、結核

により、毎年1900人が亡くなっている。美幌町の結核の現状、予防・早期発見の対策は。

答 平成28年度の新

登録結核患者数は、北見保健所管内で、19件となっている。今後も、結核予防対策として、乳児のBCGワクチン接種や65歳以上を対象に結核健診を兼ね合わせた肺がん検診の受診勧奨などを行っていきたい。

施設管理

問 未使用施設の解体予定は

吉住
博幸議員

答 平成31年度を目途に計画策定したい



問 未使用の公有施設の数と面積は。

また、今後の解体・撤去の費用、考えは。

答 用途廃止し、未使用の施設は、17棟、2678㎡。解体については、平成31年度を目途に計画策定を進めていきたい。

峠の湯びほろ

維持補修は

問 「峠の湯びほろ」の維持補修の考え方と費用は。



答 施設管理を指定管理者が行っている「峠の湯びほろ」は、10万円を超える修繕料は町が負担しており、年間維持補修費は、1千万円となっている。最大4億5千万円とされる大規模改修を含め、施設のあり方について、平成33年の指定管理期間終了までに方向性を決めたい。

ひまわり保育園

修繕の考えは

問 ひまわり保育園（旧東保育所）に貸付けしている施設の修繕の考え方は。

答 旧東保育所の施設は敷地も含め、無償で貸付けている。建物の維持補修については、使用貸借契約に基づき、建物の状況、低年齢児の保育ニーズを含めて協議していきたい。

屋内多目的運動場

安全管理体制

問 建設予定の屋内多目的運動場の安全管理体制の考え方は。



～ 屋内多目的運動場（案）～

答 スポーツセンター等の既存施設との一体管理を含め、管理員の配置や監視カメラの設置など、安全を第一に検討したい。

問 屋内多目的運動場のエレベーター設置の必要性和費用は。

答 幼児から高齢者、障がいの有無にかかわらず安全に利用できる施設整備を進めている。2階ウオーキングスペースまでエレベーターで上がることができ、救急搬送時での使用が有

効であるため、設置が望ましい。設置費用は1600万円、年間維持費は26万円と試算している。

ドッグラン

せせらぎ公園に

問 せせらぎ公園内にドッグランを造成する考えは。

答 北海道との協定では、町は良好な水辺空間の保全のため維持管理を行うこととなっている。現状では、一定の役割と制約が伴うため、整備場所と管理運営体制を含め造成は難しい。



人事政策 問 職員人事評価結果の反映は

上杉

晃史議員

答 給与への反映手法等の見直しを進める



問 美幌町の女性職員採用状況は。

答 行政施策を推進する上で女性職員の参画は不可欠であり、山積みする行政課題に迅速・的確に対応するためにも、能力や適性を重視した採用を行っている。

問 美幌町では、女性職員の管理職登用率15%を目標に掲げているが、目標に向けた取り組み状況は。

答 管理職には政策

形成・マネジメント能力等が求められる。その任に相応しい資質と能力を備えた人材を登用している。また、女性職員キャリアビジョン研修への参加も進めている。



問 オホーツク管内の自治体と比較した、美幌町女性職員採用及び管理職登用状況は。

答 オホーツク管内での、平成28年度の女性職員採用割合は、一般行政職においても、比較的高い位置にあり、管理職の登用においては管内平均と同水準にある。

職員人事評価制度

実施状況は

問 職員の人事評価制度の実施状況は。

答 業務目標の難易度・達成度に基づき評価する「業績評価」と取組姿勢・態度を評価する「能力評価」の2本立てからなる目標管理型評価を実施している。

問 人事評価結果が

ら職員の能力開発、効果的な人材育成はどの程度進んでいるのか。

答 組織として期待される効果を挙げるため、達成度の判断基準、給与への反映手法など、制度設計の見直しを進めている。

人事評価の結果を活用した能力開発の動機付け、人材育成の機会づくりを通じて、組織の活性化を図っていききたい。

役場グループ制

見直しの考えは

問 過去の一般質問において、役場グループ制の優位性が発揮されていないと答弁しているが、制度の評価と見直し状況は。

答 主幹職を対象にグループ制に係るアンケートを実施した結果、「組織機構や事務分掌、事務量の見直しが必要」「主幹、主査の名称が町民に浸透していない」など課題が明らかになったことから、行政事務改善委員会において見直し作業を進めている。

現行のグループ制のメリットを活かしつつ、他自治体の例も参考に、組織体制のあり方を研究していききたい。



貧困対策

問 生活保護捕捉率を上げるには

大江
道男議員

答 関係者との一層の連携強化を図りたい



問 格差と貧困が拡大する中、生活保護基準を下回る世帯が増加している。美幌町の生活保護世帯は249世帯（平成29年度）となっているが、これまでの対応、今後の方策は。

答 美幌町の生活保護率は、1・62%で、ここ数年は大きな変動はないが、高齢者人口の比率増加に伴い、高齢者保護世帯の増加が見込まれる。

町は、生活保護決定までの相談、書類作成などが主な業務となるが、これまでも関係機関、児童・民生委員などとの連携により適切に保護に繋げている。今後とも、貧困者からのサインを見逃すことがないよう一層の連携の強化を図っていききたい。

町内の貧困

現状分析は

問 失業者、高齢者が大半を占める国民健康保険加入世帯の平均所得が下がっている。美幌の現状は。

答 町内の貧困現状

については、多くを把握していないが、対象となり得る世帯の貧困実態を把握した中で適切に生活保護に繋がるよう情報収集していきたい。

【美幌町生活保護世帯の推移】

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
280世帯	252世帯	252世帯	243世帯	248世帯

国民健康保険税

減免拡充は

問 国民健康保険税減免制度拡充の考えは。



答 現在、国民健康保険加入の低所得者層に対する救済措置として、所得額に応じた軽減や解雇・倒産など非自発的失業者に対する軽減措置を講じている。

今年度から国民健康保険の財政運営が全道単位となり、全道の標準的な保険税の減免基準が示されることから、地域事情を踏まえ、財政状況も考慮しながら、町税減免基準のあり方を検討していきたい。

ドッグラン

整備の考え方は

問 動物愛護、美幌町の交通アクセス優位性の観点からドッグランを整備する考えはないか。

答 ドッグラン整備には、予防注射、ワクチン接種の有無の確認、施設点検など、合理的な管理運営体制を整える必要がある。公共機関が整備・運営を行うべきなのか含めて、引き続き検討したい。



農業振興

問 GAP 認証取得の考えは

橋本
博之議員

答 農業競争力強化のため取得支援する



問 GAP（ギャップ・農業生産工程管理）認証取得の動きが活発化し、国際水準統一の方向性が見られている。町の考え方は。

答 オホーツク地域では、関係機関で構成されるGAP導入推進会議が、セミナー・研修会の開催、指導員の育成を進め、地域農業の持続的発展を目指している。また、町では、美

幌高校を含む2団体、1個人がGAP認証を取得しており、普及センター、JANAなどと連携を図り、GAP認証取得に向けて支援していきたい。



移譲登録制度

推進の考えは

問 1350戸（昭和23年）あった農家戸数が350戸と大きく減少しており、

新規就農対策が課題となっている。移譲希望者が、離農予定年、資産売買希望額、売買面積を事前登録することで、経営継承希望者を確保できるが、移譲登録制度の考え方は。

答 離農者と新規就農者のマッチングのための移譲登録制度は有効だが、農業経営資産の情報や就農地区の選択などの取り組みに透明性や公平性が求められる。移譲登録制度が有効な担い手確保や農地流動化となり得るよう、研究していきたい。



問 移譲登録制度の必要性について、農業委員会で議論したことはあるのか。

答 農業委員会が農業者に確認すると離農を促すような誤解を生じる可能性もあるため議論したことはないが、これからの時代、有効な手段になると思う。

町有財産管理

施設解体は

問 町有財産の中に使われていない、または使われる見込みのない施設・土地が

多くあり、計画的な売却・解体が求められる。考え方は。

答 町有財産のうち、築年数が経過し、使われていない施設は17棟となっており、未売却の土地は3敷地となっている。

現在進めている役場庁舎改築に合わせ、新たに空き施設が増えることも予測されることから、平成31年度を目途に、計画を策定したい。



～ 旧ユースホステル ～

平成30年度第1回議会報告会・意見交換会を開催

5月30日(水)、今年度1回目の自治基本条例に基づく「議会報告会と意見交換会」を美富集会室(昼の部)と旭集会室(夜の部)で開催しました。

大原議長から定例会・臨時会の審議内容(平成30年度予算、「峠の湯びほろ」指定管理決定、子ども医療費の助成枠拡大など)について報告した後、参加者の皆さんと意見交換を行いました。主な内容は以下のとおりです。



◆公共施設の建設について

- ・公共施設の建設で、後世に負担(借金)を残すのが心配。
- ・人口は減少しても必要な施設は建設すべきと思うが、人口減少対策を講じるべきでは。

◆自治会への支援について

- ・会員数減少、高齢化により自治会集会室の運営が難しくなっている。町からの支援に期待したい。

議会運営効率化のため 情報通信技術の活用を調査

議会運営委員会 委員長 橋本博之

議会運営委員会(橋本・戸澤・吉住・上杉・稲垣)と大原議長は、議会改革や議会運営効率化など、町民に解りやすい議会審議、議会の見える化などに取り組んでいます。

今後、議会議事堂を含む新庁舎建設が控えていることから、議会のICT化(情報通信技術の活用)調査・研究を目的に、4月16(17)日に神奈川県寒川町の先進地視察を行いました。

◆寒川町議会

平成26年から議会主導でタブレット端末(軽量パソコン)導入によるペーパーレス化等について、本格検討し議



～ 神奈川県寒川町議会 ～

◆南足柄市議会

町執行部と一体となって、タブレット端末を導入し、ペーパーによる議会資料等の配布を減らし、平成28年に議案と付属資料以外のペーパーレス化を決定しています。

視察当日は、ICT・タブレット端末導入



～ 神奈川県南足柄市議会 ～

の経緯と運用状況について、文書管理システム、町執行部との情報提供・共有の説明を受け、本会議場を見学しました。

今後とも、議会ICT化の目標である(1)情報公開による町民に信頼される議会、(2)紙、印刷、人件費等の大幅な経費削減、(3)ペーパーレス化、(4)議会・議員間の情報共有、(5)情報伝達の即時化、(6)会議運営の効率化を目指し、議員間で活発に議論します。

定住・移住施策、 子育て支援施策を調査

総務文教厚生常任委員会 委員長 坂田 美栄子

総務文教厚生常任委員会（坂田・上杉・吉住・大江・橋本・中嶋・稲垣）は、7月1日～5日に道外先進事例を視察調査しました。

◆定住・移住施策

（大分県豊後高田市）

豊後高田市中心部の「昭和の町」は、まちづくりの手法が高い評価を受け、毎年多くの観光客が訪れています。

また、市営の無料塾

「学びの21世紀塾」など地域と一体となった取り組みで、子どもたちの学力はトップグループを誇るなど「教育のまち」として全国に発信されています。

さらに、県内でもト



～ 定住・移住施策（豊後高田市）～

ップクラスの安い保育料など、子育てしやすい環境が整っています。「移住者向け土地代無償の分譲地」、「小での医療費無料化」、「小・中学校の給食費無償化」など、「住みたい田舎ランキング・6年連続ベスト3！」の実績あるまちにふさわしい、他に類を見ない、きめ細やかな支援策に取り組んでいます。

◆子育て支援施策

（佐賀県みやき町）

みやき町は、町の施設を提供し、保育園等に通わない子どもを民間団体等に委託し子育て支援を行っています。

また、全国的に珍しい、NPO法人による「産前産後サポートステーション」が整備されています。医療費の助成は、高校生まで行っており、学校給食費は、小中学校に同時在学する児童・生徒のうち、第3子以降は全額、第1・2子についても半額補助しています。また、第1子から出生祝金を支給しています。「子ども・子育て関連三法」による支援制度に移行する私立幼稚園への支援を行い、官民挙げての子育て支援を目指しています。合併

後、町立保育園4園を統合し、民間移譲することにより、町民のニーズに応え、サービスの向上に努めています。



～ 子育て支援施策（みやき町）～

◆図書館の管理運営

（佐賀県武雄市）

武雄市図書館は、「生活提案の場」を全国に手掛けてきた民間企業が、初めて企画・運営に取り組んだ図書館であり、武雄市とともに策定した、市民のだれもが利用しやすく、利用したくなる「市民の生活をより豊かにする図書館」を作る「新・

図書館構想」のもと、平成25年にリニューアルオープンしました。資料収蔵や図書貸出の場といった従来の図書館像にしばらく、図書館、書店、カフェが一体的に融合し、勉強も仕事も会話もできる、市民に居心地の良い場と新たなコミュニティを創出しています。視察先には、まちづくりのヒントがたくさんありました。今後、町の施策に反映できるよう取り組んでいきます。



～ 武雄市図書館 ～

新しい町おこし事業の推進・ 公設温泉の運営管理を調査

経済建設常任委員会 委員長 早瀬 仁志

経済建設常任委員会

(早瀬・新鞍・古館・岡本・高橋・戸澤)、大原議長は、5月22日、25日に道内先進事例を視察調査しました。

◆グリーンツーリズムによる地域を未来になぐ人づくり

浦幌町のノースプロダクション・NPO法人食の絆を育む会では、十勝地域18市町村約400戸で都市圏の高校生を受け入れ、農村生活を体験させる「とかち農村ホームステイ」に取り組んでいます。子どもたちは、農山村の暮らしを通じ「命」や「食べ物」の大切さと繋がりを知るととも

に、地域とのふれあい

の中でコミュニケーションを育みながら、一次産業への理解を深めることにより、都市と

農村の新たな関係が構築されています。ホームステイを体験した子

どもの中から、十勝管内大学への進学や就職などの実績もあります。

◆滞在型・体験型観光の推進、野外アドベンチャーパーク

美幌町では、観光振興革新戦略ビジョンを策定し体験型観光のメニュー化に取り組んでおり、誘客コンテンツの研究のため、伊達市の野外アドベンチャーパークを視察しました。



～ 野外アドベンチャーパーク(伊達市) ～

大自然を生かしたジップラインとフィールドアスレチックの導入により、幅広い年代の集客に繋がっています。

◆ブナ北限の里ツーリズム

黒松内町は、国の天然記念物である歌オブナ林など自然環境や優れた農村景観を保全しており、年間15万人の旅行者が訪れています。牧歌的農村風景や地域の生活文化等の資源を活かし「ブナ北限の里ツーリズム」を推進しています。

◆公設温泉の運営管理について、蘭越町交流促進センター・蘭越町・黒松内温泉ぶなの森・妹背牛温泉ペペル

峠の湯びほろの今後の運営管理のため、公設温泉を視察しました。

蘭越町温泉閣は、町直営の温泉宿泊施設で、収益を温泉基金に積み立てるなど健全経営を継続しています。

黒松内温泉ぶなの森は、平成10年オープンの日帰り入浴施設で、人口2800人の町で年間入浴者数は11万人となっていますが、施設の老朽化が著しいことから、30年度には大規模改修工事を予定しています。

平成5年にオープンした妹背牛温泉ペペルは日帰り入浴施設で、利用者数は平成29年度

19万人弱と内2割が町民、8割が町外者で観光資源のない町の重要な観光施設です。

3施設とも地域住民の交流の場や健康づくりに活用されており、地域になくはならない施設となっています。運営に工夫を凝らし収益増に取り組んでおり、見習うべき点が多くありました。

以上、視察先の事例をもとに、町の政策に意見反映できるよう取り組んでいきます。



～ 黒松内温泉ぶなの森 ～

～ 全議員の政務活動費収支状況をお知らせします！ ～

政務活動に要する経費（使途基準）

項 目	内 容
調 査 研 究 費	議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究並びに調査委託に要する経費（調査委託費、交通費、宿泊費等）
研 修 費	団体等が開催する研修会・講演会等への議員の参加に要する経費及び議員が行う政務調査活動のための研修会、講習会等に要する経費（会費、交通費、宿泊費、会場費、機材借上費、資料印刷費等）
要 請 陳 情 等 活 動 費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費（会場費、機材借上費、資料印刷費等）
会 議 費	議員が行う地域住民の町政に関する要望、意見を吸収するための各種会議に要する経費（会場費、機材借上費、資料印刷費等）
資 料 作 成 費	議員が議会審議及び町の事業並びに地方行財政調査研究に必要な資料を作成するために要する経費（印刷製本費、原稿料等）
資 料 購 入 費	議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料等）
広 聴 広 報 費	議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広聴広報活動に要する経費（広報紙等印刷費、送料、交通費等）
事 務 所 費	議員が行う調査研究活動のために必要な事務所の設置、管理に要する経費（事務所の賃借料、管理運営費等）
事 務 費	議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な経費（消耗品費、備品購入費、通信費等）

美幌町では、議員一人当たり月額2万円の政務活動費が交付されています。政務活動費は議員活動をするうえで、必要な経費の一部として交付するものであり、使途は研修会参加費や書籍購入費など議員によってさまざまです。

ここでは、各議員から平成29年度政務活動費収支報告書の提出がありましたので、お知らせします。なお、収支報告書は議会事務局で閲覧することができま

平成29年度 政務活動費収支報告

平成29年度 政務活動費 使途別集計表

交付番号	第1号	第2号	第3号	第4号	第5号	第6号	第7号	第8号	第9号	第10号	第11号	第12号	第13号	第14号	合 計	構成比
	高橋秀明	大江道男	新鞍峯雄	上杉晃央	稲垣淳一	戸澤義典	早瀬仁志	岡本美代子	坂田美栄子	吉住博幸	橋本博之	中嶋すみ江	古舘繁夫	大原昇		
1 調査研究費															0	0.0%
2 研 修 費	246,860		168,600	85,971	98,504	201,629		7,900	7,900		7,900	158,934	60,730	20,015	1,064,943	43.2%
3 要請陳情等活動費															0	0.0%
4 会 議 費															0	0.0%
5 資料作成費															0	0.0%
6 資料購入費	9,024	84,528	37,920	14,418	66,945	107,090		94,416	101,556	49,566	33,347	58,968	61,948	20,384	740,110	30.0%
7 広聴広報費		152,181		194,692	37,900	41,410							120,726		546,909	22.2%
8 事務所費															0	0.0%
9 事 務 費		4,454	26,470	2,126	3,720			30,115	6,917		5,011	12,076		21,546	112,435	4.6%
収支報告分計	255,884	241,163	232,990	297,207	207,069	350,129	0	132,431	116,373	49,566	46,258	229,978	243,404	61,945	2,464,397	100.0%
返 還 金	0	0	7,010	0	32,931	0	240,000	107,569	123,627	190,434	193,742	10,022	0	178,055	1,083,390	
交付決定額(A)	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	3,360,000	
交付確定額(B)	240,000	240,000	232,990	240,000	207,069	240,000	0	132,431	116,373	49,566	46,258	229,978	240,000	61,945	2,276,610	
執行率(B÷A)	100.0%	100.0%	97.1%	100.0%	86.3%	100.0%	0.0%	55.2%	48.5%	20.7%	19.3%	95.8%	100.0%	25.8%	67.8%	

* * * * *

あ
と
が
き

▼天候の気まぐれに、戸惑うこの頃ですが、皆さんは体調管理に留意されていますか。

▼今号は、6月定例会の内容を中心に
お伝えします。

▼一般質問等は、各議員が日々、行政は「こうあるべきでは」と思うことを町長に問いかけています。皆さんの行政に対する、疑問・疑義を代弁しているか、チェックしてください。（博幸）

議会運営委員会

委員長 橋本博之

副委員長 戸澤 義典

委員 吉住博幸

委員 上杉 晃央

委員 稻垣 淳一